

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2016-60113(P2016-60113A)

【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-025

【出願番号】特願2014-189924(P2014-189924)

【国際特許分類】

B 2 9 C 43/58 (2006.01)

B 2 9 C 43/18 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 43/58

B 2 9 C 43/18

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月29日(2016.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

次に、第 1 の工程を開始するべく前記昇降機構を付勢し、上型 1 4 を下型 1 2 に向かって下降させる。この下降の最中に、上型 1 4 の囲繞壁 5 0 の内側面が下型 1 2 の突部 2 8 の外側面に対向する。囲繞壁 5 0 の内側面が第 1 シール部材 3 2 に接触すると、該第 1 シール部材 3 2 により、突部 2 8 と囲繞壁 5 0 の間がシールされる。その結果、図 2 に示すように、下型 1 2 と上型 1 4 の間に大気から遮断された閉空間 7 0 が形成される。図 2 ~ 図 4 を参照して諒解されるように、閉空間 7 0 は、製品キャビティ 1 6 とシール間室 5 8 が連通した空間である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 7】

突部 2 8 の内側面が第 2 シール部材 5 6 に接触すると、該第 2 シール部材 5 6 により、突部 2 8 と柱状部 4 6 の間がシールされる。その一方で、突部 2 8 と囲繞壁 5 0 との間では、第 1 シール部材 3 2 によってシールされた状態が維持されている。従って、第 1 シール部材 3 2 と第 2 シール部材 5 6 の間にシール間室 5 8 が形成される。図 3 から容易に諒解されるように、シール間室 5 8 は、第 2 シール部材 5 6 によって製品キャビティ 1 6 から遮断されている。換言すれば、閉空間 7 0 がシール間室 5 8 と製品キャビティ 1 6 とに区分され、両者が互いに独立した閉空間となる。